



各地で開催されたどんど焼き 今年の安全・健康を祈って！



令和6年新春号 発行者／小山 正弘 編集／あきる野市町内会・自治会連合会 広報部会

お正月とは関係のない雑感

あきる野市町内会・自治会連合会
会長 小山 正弘

新年明けましておめでとうございます。
お正月号ですから氣の利いたことを書こうと思ったのですが、教養が足りず断念。気の向くまま書きました。

一つ目 何が違うの？

町内会と自治会って何が違うの？と、時々聞かれます。現在、旧五日市町地区では四十自治会すべてが「自治会」です。旧秋川市地区では四十一町内会・自治会のうち十二が「自治会」です。全体の六十四%強が「自治会」ということです。

さて、町内会と自治会は何が違うのでしょうか？結論は「同じです、名称が違います」と聞かされています。旧秋川市の「町内会」は比較的に古くからあるところが多いように思います。

一市一町が合併し連合会が生まれたころ、町内会・自治会連合会なのか自治会連合会なのか、議論になつたようです。連合会報初号には「検討を一年間に渡り重ね、自治会といふ名称がふさわしいが、早期の実施は無理と結論した」とあります。

それから二十年以上たちましたが、未だに統一はされていません。私は両方あっていいのかなと思っていますが、皆さんはどう思いますか？

二つ目 入りたいけど：

町内会・自治会への加入相談は
042-558-1394 あきる野市地域防災課まで

これは「自治会（町内会）」に

入りたいけど、入り方がわからない」との意見を、各種アンケート結果や産業祭の来場者からよく見聞きするので、事業部会、役員会で検討して加入促進策として作成してみました。当初は町内会長・自治会長の連絡先を記載しようと思いましたが、不特定多数の方が見ることになるので躊躇していたところ、地域防災課の方が手を挙げてくださり、このようなシールになりました。

三つ目 テレビを見ていて

効果はまだわかりませんが、個人的にはひそかに期待しています。

十月五日放送の「徹子の部屋」に出演した歌手の加藤登紀子さんが「きょういく」と「きょうよう」があることを大事にしていると、話していました。「流石、東大卒だな」と思つていると、「今日、行く所がある」「今日、用事がある」とことですとのこと。：現役を退休くと身に染みる言葉です。

「きょういく」「きょうよう」が、このごろ少ないと感じている方、地域を支えるボランティア活動も選択肢の一つに入れてください。町内会・自治会の役員の他にもふれあい福祉委員・交通安全協会・防犯委員・消防団・民生委員・健康づくり市民推進委員・氏子会の役員などなど、皆さんが手を挙げてくれるのをお待ちしていますよ。

まずは町内会・自治会の役員に相談してみてください。

今年もよろしくお願いします

連合会



あきる野市町内会・自治会連合会新年会開催される

去る1月12日(金)あきる野ルピアホールにて町内会・自治会連合会新年会を、中嶋あきる野市長、村野市議会議長、丹治教育長、網代社会福祉協議会副会長、山崎防災・安心地域委員会本部長、増崎市議会副議長、大久保総務部長をお招きして、町内会・自治会連合会小山会長以下各地区の町内会・自治会会长42名が参加して開催されました。

新型コロナの自粛活動で、ここ数年町内会・自治会活動はほとんどなく低迷であったようですが、昨年より各地で行事が再開し、盛り上がりを見せるなど、活気が出てきたことは頼もしくも嬉しい限りです。

4月には役員交代の改選期になりますが、継続して任を続けられる方、新規に就任をされる方などを含め、益々この町内会・自治会連合会が盛り上がってほしいと願うばかりです。

また、多くの方の加入参加にて地域で行われる祭礼や行事への盛り上がりを期待しています。



町内会・自治会連合会研修旅行を実施

昨年11月5, 6日の両日連合会の研修旅行で『東日本大震災原子力災害伝承館・他』への研修のため、町内会・自治会連合会の会長ほか28名の参加にて実施されました。

例年の計画では40名近くの参加を得られましたが、勤務の方が多いなど少ない参加がありました。

初日がバス移動にて車内懇親の時間が取られましたが、翌日は朝から東日本大震災の津波の跡や原子力災害の爪痕などを研修。浪江町では新しい駅舎や解放された地区。一步郊外に出るとフェンスに囲まれた地域が点在、12年経過しても我が家への立ち入りが出来ない区域が散見して放射能災害を目にすることとなりました。

伝承館のそばには、塩害にて田畠の工作が出来ず、枯れ草が生い茂りはるか先（1.5 km）海岸近くの小学校から全校児童が避難したという高台から見た景色と、近道を児童が案内して多くの児童が助かったと聞きました。

能登地方での地震の報に触れ、自分の身の周りや地域の防災・安全を見直したいと思います。



多西地区合同防災訓練を体験して

11月23日（木）の勤労感謝の日、暖かな穏やかな天候にも恵まれ、女性・小中学生を含め、18町内会・自治会から300名を超える皆様に参加いただきました。会場は、あきる野市民プール前駐車場で行いました。

今回の防災訓練では、「家具に挟まれ体験・救出体験」、「閉じ込め車両脱出体験」、「災害時のTシャツで包帯作り体験」等、楽しみながら体験することができる内容でした。「家具に挟まれ体験・救出体験」では挟まると身動きが取れないことを実際に体験し、家具等の転倒防止対策が改めて大事なことを痛感させられ、転倒、揺れによりガラスの破損・飛び散りには、飛散防止フィルムを貼ることで被害を大いに防げることが体験できたことは、手伝いの一人として、参加していただいた皆様にも充分に伝わったのではないかと感じています。

家具転倒挟まれ体験・救出体験



非常用淨水器



どんと焼きの中で薩玉やお餅を焼いたり、お囃子で盛り上がり、聖火リレーの様に御神火を地区内を周つてからだけではなく会館の広場を利用して密着した行事に成ったと云うです。終了時には地元消防団の方々や秋川消防署の方の協力をいただき消防作業をしていただきました。災害は思いもよらぬ時、場所で起きて日頃の訓練や備えがいざと違う時の力になりまますのでそれらを充実して安心して暮らせる安心する野市にしようではありますか。

新春に発行する広報は明るい話題を多く盛り込みたが、元旦での北陸で発生した震災や羽田での航空機事故。海上保安庁の方がお亡くなりになつた方がお亡くなりになつた方のご冥福をお祈りします。JAJに搭乗の乗客・乗員が無事であつたのがホッとした気持ちになつた新年でした。関東大震災から10年を経過して災害を忘却がちになる昨今、東京都からの補助を受けて町内会・自治会の防災備品をそろえられたり、防災訓練を実施したりと各地で知恵を絞られたことでしょう。表紙写真は各地で開催されたとんど焼き、塞の神の行事とその時の風景写真をコマドリにて掲載して各地の皆様の顔に成ればと載せてみました。